

# 台風第7号 説明会



この資料は、6月25日09時の予想資料を用いて作成した説明会資料です。最新の気象情報は、気象台ホームページから確認ください。

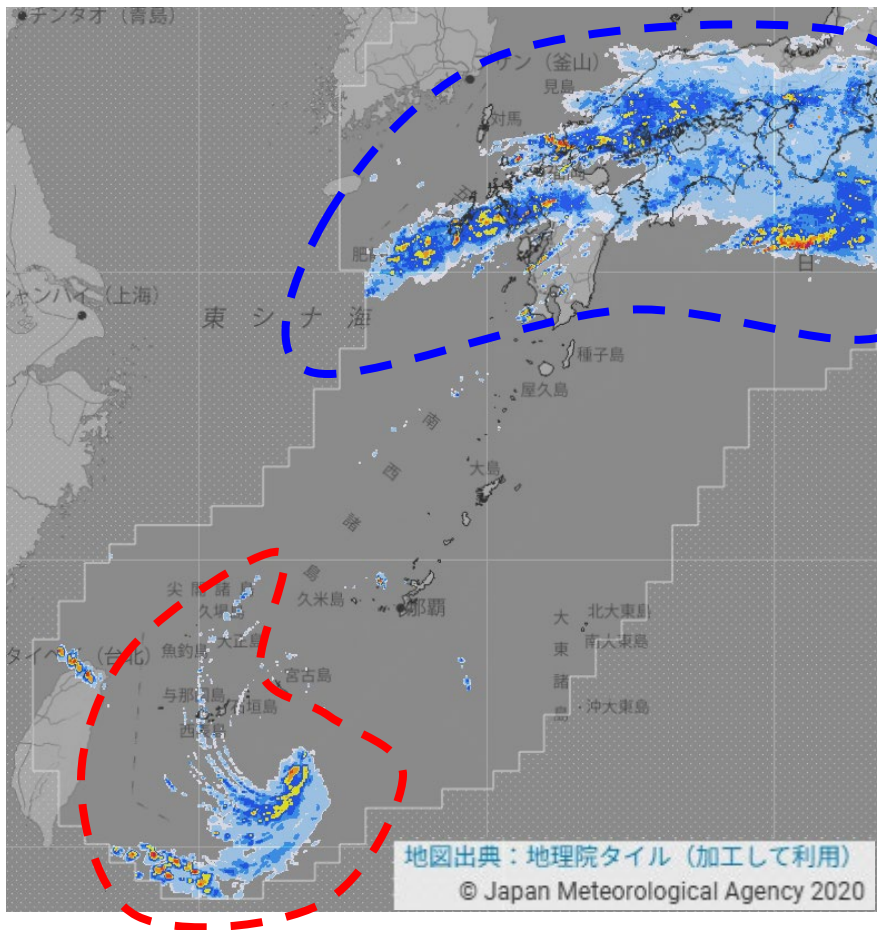
令和8年6月25日  
高知地方気象台

# 高知県への影響 (25日10時現在)

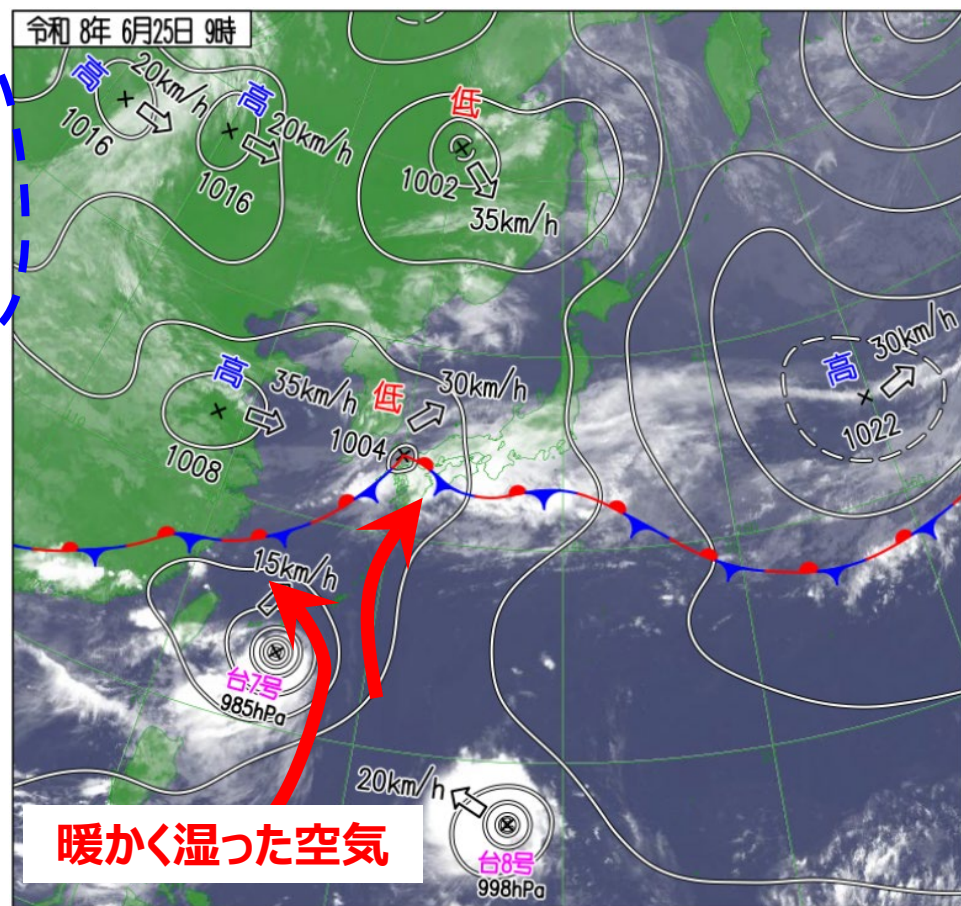
- ✓ 台風第7号は27日明け方～朝にかけて高知県に最も接近する見込み。
- ✓ 梅雨前線の影響で、降り始め（24日0時）からの降水量は200mmを超えたところがある。
- ✓ 梅雨前線の影響により、**台風の接近前から大雨が続く。**
- ✓ 24時間降水量は、26日12時まで多いところで200mm、26日夜からは台風周辺の雨雲がかかり、27日12時まで多いところでさらに200mm、**降り始めからの総降水量は多いところで500mmを超えるところがある見込み。**
- ✓ **平時より土砂災害発生の危険度が高まっている。**
- ✓ 27日は低い土地の浸水や河川の増水、土砂災害、強風、高波に十分注意。

# 地上天気図、気象衛星画像、レーダー合成図

雨雲の動き 25日09時



衛星画像（可視）+天気図 25日09時



台風7号本体の雨雲

梅雨前線の雨雲



# 【早期注意情報（警報級の可能性）】

25日 11時現在

## 高知県の早期注意情報（警報級の可能性）

2026年06月25日11時 高知地方气象台 発表

中部では、27日までの期間内に、大雨、暴風、波浪警報を発表する可能性がある。

東部では、27日までの期間内に、大雨、暴風、波浪警報を発表する可能性がある。

西部では、27日までの期間内に、大雨、土砂災害、暴風、波浪警報を発表する可能性がある。

高知県中部	25日		26日				27日		28日	29日	30日	
	警報級の可能性	12-18	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12				12-24
大雨	-	-	-	-	-	-	-	[中]	[中]	-	-	-
土砂災害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
暴風(雪)	-	-	-	-	-	-	-	[中]	[中]	-	-	-
波浪	-	-	-	-	-	-	-	[中]	[中]	-	-	-
高潮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県東部	25日		26日				27日		28日	29日	30日	
	警報級の可能性	12-18	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12				12-24
大雨	-	-	-	-	-	-	-	[中]	[中]	-	-	-
土砂災害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
暴風(雪)	-	-	-	-	-	-	-	[中]	[中]	-	-	-
波浪	-	-	-	-	-	-	-	[中]	[中]	-	-	-
高潮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県西部	25日		26日				27日		28日	29日	30日	
	警報級の可能性	12-18	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12				12-24
大雨	-	-	-	-	-	-	-	[中]	[中]	-	-	-
土砂災害	-	-	-	-	-	-	-	[中]	[中]	-	-	-
暴風(雪)	-	-	-	-	-	-	-	[中]	[中]	-	-	-
波浪	-	-	-	-	-	-	-	[中]	[中]	-	-	-
高潮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

■ [高] ■ [中]

		6月25日					6月26日								6月27日			
		09-12 昼前	12-15 昼過ぎ	15-18 夕方	18-21 夜の はじめ頃	21-24 夜遅く	00-03 未明	03-06 明け方	06-09 朝	09-12 昼前	12-15 昼過ぎ	15-18 夕方	18-21 夜の はじめ頃	21-24 夜遅く	00-06	06-12	12-18	18-24
台風最接近																		
線状降水帯																		
大雨 1時間最大 (ミリ)	中部	40			50	50	50	50										
	東部	40			50	50	50	50										
	西部	30			40	40	40	40										
土砂災害	中部																	
	東部																	
	西部																	
雷																		
強風・暴風 (メートル)	中部	陸上	↗ 10	↗ 10	↗ 10	↗ 10	↗ 10	↗ 10										
		海上	↗ 12	↗ 12	↗ 12	↗ 12	↗ 12	↗ 12	↗ 10	↗ 10					← 10			
	東部	陸上	↗ 10	↗ 10	↗ 10	↗ 12	↗ 12	↗ 12	↗ 12									
		海上	↗ 12	↗ 12	↗ 12	↗ 15	↗ 15	↗ 15	↗ 15	↗ 10	← 10				↙ 10			
	西部	陸上	↗ 10	↗ 10	↗ 10	↗ 10	↗ 10								↙ 12			
		海上	↗ 12	↗ 12	↗ 12	↗ 12	↗ 12	↗ 10	↗ 10	↗ 10	↓ 10	↓ 10	↓ 10	↙ 10	↙ 15			
波浪 うねりを伴う (メートル)	中部	2	2.5	2.5	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2.5				
	東部	2.5	2.5	2.5	3	3	3	3	3	3	2.5	2.5	2.5	2.5				
	西部	2.5	2.5	2.5	3	3	3	3	3	3	2.5	2.5	2.5	3				
高潮																		

注意報、レベル2 注意報    警報、レベル3 警報    レベル4 危険警報    特別警報、レベル5 特別警報

### 【雨の予想】 (24時間降水量、多いところ、単位はミリ)

期 間	中部	東部	西部
25日12時～26日12時	200	200	150
26日12時～27日12時	200	200	150
27日12時～28日12時	50	50	30

### 台風通過後の北風

- 27日は台風通過後、中部を中心に北寄りの風が強まる。強風害などには留意。

# 降り始めからの総雨量

降り始めからの総雨量



降り始めからのアメダス総雨量（速報値） 高知県

06月24日00時から06月25日12時まで

一次細分区域	アメダス観測所	総雨量(mm)
中部	仁淀川町鳥形山	156.0
	佐川	154.5
	仁淀川町池川	146.5
	須崎	145.0
	いの町本川	128.5
	高知市	118.5
	本山	98.0
	香美市繁藤	97.0
	南国市後免	88.0
	香美市大柘	80.0
	高知空港	78.5
東部	室戸岬	278.0
	室戸市佐喜浜	192.5
	馬路村魚梁瀬	101.5
	田野	96.0
	安芸	65.0
西部	黒潮町佐賀	215.0
	土佐清水市三崎	187.5
	津野町船戸	165.0
	四万十町窪川	163.5
	清水	158.5
	四万十市江川崎	148.5
	四万十市中村	147.5
	梶原	135.0
	四万十町大正	133.5
	宿毛	130.0

降り始め（24日0時）からの総雨量はすでに200mmを超えたところがある

【雨の予想】（24時間降水量、多いところ、単位はミリ）

期 間	中部	東部	西部
25日12時～26日12時	200	200	150
26日12時～27日12時	200	200	150
27日12時～28日12時	50	50	30

今後降水量はさらに増え、27日までの総降水量は500mmを超えるところがある見込み

- ✓ 台風第7号は27日明け方～朝にかけて高知県に最も接近する見込み。
- ✓ 梅雨前線の影響で、降り始め（24日0時）からの降水量は200mmを超えたところがある。
- ✓ 梅雨前線の影響により、**台風の接近前から大雨が続く。**
- ✓ 24時間降水量は、26日12時まで多いところで200mm、26日夜からは台風周辺の雨雲がかかり、27日12時まで多いところでさらに200mm、**降り始めからの総降水量は多いところで500mmを超えるところがある見込み。**
- ✓ **平時より土砂災害発生の危険度が高まっている。**
- ✓ 27日は低い土地の浸水や河川の増水、土砂災害、強風、高波に十分注意。

# 台風の接近や大雨に備えて

- ✓ 大雨による土砂災害・洪水・低い土地の浸水をはじめ、自分のいる場所ではどのような災害が起こりやすいのかを 予めハザードマップ等で確認し、台風が近づく前に**早め早めの安全確保**をお願いします。
- ✓ 海岸や増水した河川・用水路なども含め、**危険な場所には絶対に近づかない**ようお願いします。
- ✓ 気象台が発表する**警報・注意報など防災気象情報**に留意するとともに、**市町村の避難情報**に注意してください。
- ✓ **今後の台風の進み方によっては状況が変わってきますので、常に最新の情報を利用してください。**

- 防災気象情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として危険警報を新設。**
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表。**（例：レベル4大雨危険警報等）

### 新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面の上昇や 波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民が とるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
----- <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！> -----					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める



# 線状降水帯に関する情報の位置付けと住民に求められる行動

参考資料

## 線状降水帯に関する情報

## 住民に求められる行動

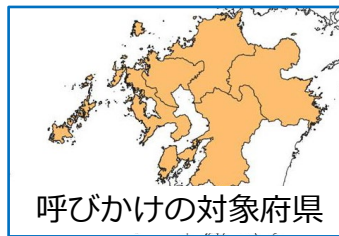
線状降水帯  
発生の可能性あり

～半日程度前

線状降水帯  
半日前予測

### 気象解説情報（線状降水帯半日前予測）

内容：線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ



大雨に対する  
心構えを一段高め、  
避難準備等、  
災害に備える

線状降水帯  
となる可能性が高  
まる

～3時間前

線状降水帯  
直前予測

### 気象防災速報（線状降水帯直前予測）

内容：線状降水帯となる危険性が高まった際に、発生のおよ2～3時間前を目標にお知らせ



周辺状況や自治体  
の避難情報等もふ  
まえ、避難など適切  
な防災行動をとる

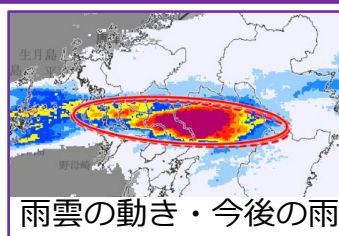
線状降水帯  
発生

30分前  
～現在

線状降水帯  
発生

### 気象防災速報（線状降水帯発生）

内容：線状降水帯の発生をお知らせ



自治体からの避難  
情報や周辺状況を  
確認し、速やかに  
安全確保

時間

# 今後の予想を含めた最新の情報は、以下からご利用ください

## 台風情報

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=typhoon>

## 警報レベル相当情報・気象警報・注意報

[https://www.jma.go.jp/bosai/warning/#lang=ja&area\\_type=offices&area\\_code=390000](https://www.jma.go.jp/bosai/warning/#lang=ja&area_type=offices&area_code=390000)

## 指定河川洪水予報

[https://www.jma.go.jp/bosai/flood/#area\\_type=offices&area\\_code=390000](https://www.jma.go.jp/bosai/flood/#area_type=offices&area_code=390000)

## キキクル

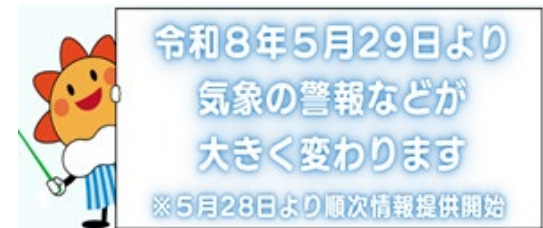
[https://www.jma.go.jp/bosai/#area\\_type=offices&area\\_code=390000&pattern=rain\\_level](https://www.jma.go.jp/bosai/#area_type=offices&area_code=390000&pattern=rain_level)

## 気象防災速報・気象解説情報

[https://www.jma.go.jp/bosai/information/#area\\_type=offices&area\\_code=390000&format=table](https://www.jma.go.jp/bosai/information/#area_type=offices&area_code=390000&format=table)

その他の情報は、気象庁ホームページをご覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

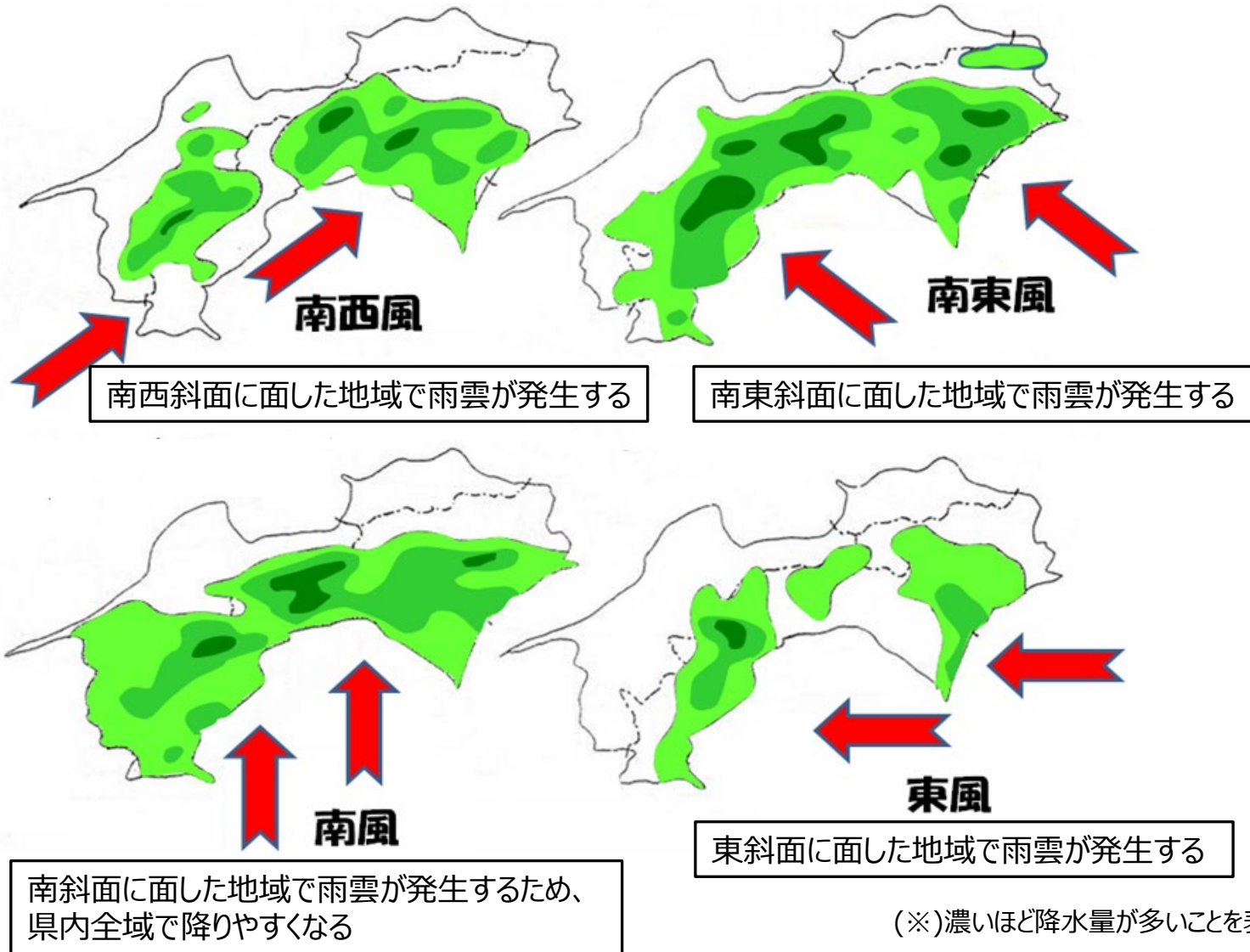


以下、參考資料

# 高知県の地域特性

参考資料

## 上空1000m風向別の降雨特性



# 段階的に発表される防災気象情報と対応する行動

参考資料

## 5段階の警戒レベルと防災気象情報

気象状況	気象庁等の情報	市町村の対応	住民がとるべき行動	警戒レベル	
災害の切迫・発生	河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮 <b>レベル5 特別警報</b>	キキクル <b>災害切迫</b>	<b>緊急安全確保</b> ※必ず発令される情報ではない	<b>命の危険 直ちに安全確保!</b> ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。 ・いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	<b>5</b>
 <p>&lt;警戒レベル4までに必ず避難!&gt;</p>					
2時間～0時間程度前	<b>レベル4 危険警報</b>	<b>危険</b>	<b>避難指示</b> <b>第4次防災体制</b> (災害対策本部設置)	<b>危険な場所から全員避難</b> ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	<b>4</b>
数時間～3時間程度前	<b>レベル3 警報</b>	<b>警戒</b>	<b>高齢者等避難</b> <b>第3次防災体制</b> (避難指し示の発令を判断できる体制)	<b>危険な場所から高齢者等は避難</b> ・高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	<b>3</b>
半日～数時間前	<b>レベル2 注意報</b>	<b>注意</b>	<b>第2次防災体制</b> (高齢者等避難の発令を判断できる体制) <b>第1次防災体制</b> (連絡要員を配置)	<b>自らの避難行動を確認</b> ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	<b>2</b>
数日～約1日前	<b>早期注意情報</b> (警報級の可能性)		・心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認	<b>災害への心構えを高める</b>	<b>1</b>

# 台風の大きさと強さ

参考資料

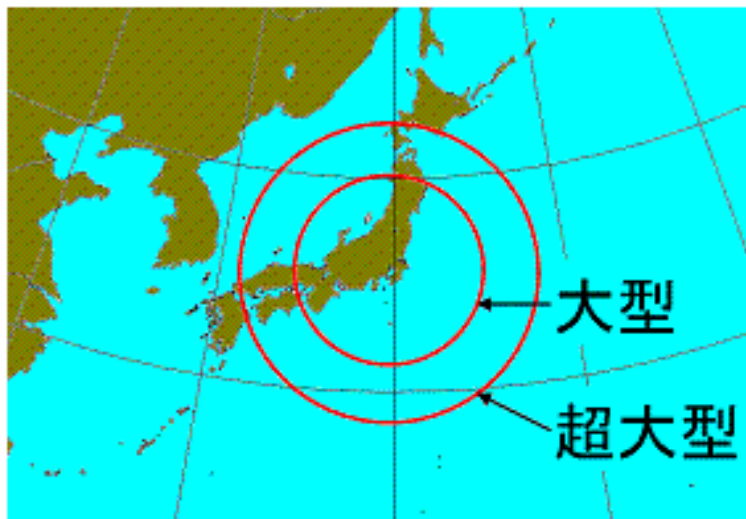
## 大きさの階級分け

階級	風速 15 m/s以上の半径
大型（大きい）	500 km以上～800 km未満
超大型（非常に大きい）	800 km以上

## 強さの階級分け

階級	最大風速
強い	33 m/s (64ノット) 以上～44 m/s (85ノット) 未満
非常に強い	44 m/s (85ノット) 以上～54 m/s (105ノット) 未満
猛烈な	54 m/s (105ノット) 以上

- 台風の「大きさ」は強風域（風速15 m/s以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲）の半径で、「強さ」は最大風速で区分しています。



台風と日本列島との大きさ比較

# 風の強さ

## 参考資料

平均風速 (m/s)	およその 時速	予報用語	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	およその 瞬間風速 (m/s)
10以上 15未満	～50km	やや強い 風	一般道路 の自動車	風に向って歩きにくくなる。傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。電線が揺れ始める。	道路の吹流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける。	樋(とい)が揺れ始める。	20
15以上 20未満	～70km	強い風		風に向って歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。	電線が鳴り始める。看板やタン板が外れ始める。	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる。	屋根瓦・屋根葺材がはがれるものがある。雨戸やシャッターが揺れる。	
20以上 25未満	～90km	非常に強い風	高速道路 の自動車	何かにつかまっていなくて立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。	通常ので速度で運転するのが困難になる。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。ビニールハウスのフィルム(被覆材)が広範囲に破れる。	30
25以上 30未満	～110km						固定の不十分な金属屋根の葺材がめくれる。養生の不十分な仮設足場が崩落する。	
30以上 35未満	～125km	猛烈な風	特急電車	屋外での行動は極めて危険。	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。	走行中のトラックが横転する。	外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある。	50
35以上 40未満	～140km						住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。	
40以上	140km～						60	

# 雨の強さ

参考資料

## 雨の強さと降り方

(平成12年8月作成)、(平成14年1月一部改正)、(平成29年3月一部改正)、(平成29年9月一部改正)

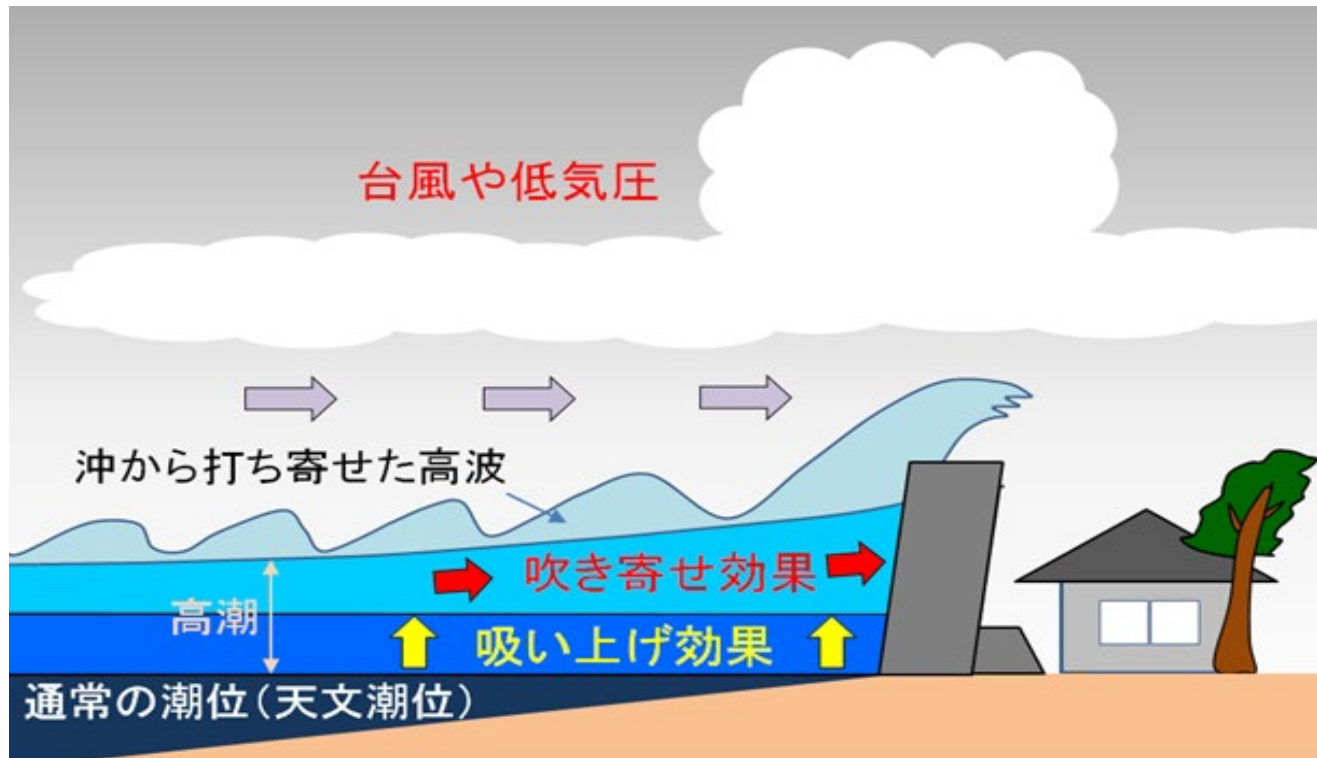
1時間雨量 (mm)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
10以上～ 20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声が良く聞き取れない	地面一面に水たまりができる	
20以上～ 30未満	強い雨	どしゃ降り				ワイパーを速くしても見づらい
30以上～ 50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	傘をさしていてもぬれる	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく	道路が川のようになる	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロプレーニング現象)
50以上～ 80未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)			水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険
80以上～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる	傘は全く役に立たなくなる			

# 高潮の要因

参考資料

## 台風による

- ①気圧低下により海面が吸い上げられるように上昇する（吸い上げ効果）
  - ②風により海水が海岸に吹き寄せる（吹き寄せ効果）
  - ③波浪による海面の上昇（波浪効果）
- ①～③の相乗効果により高潮の可能性が高くなります。  
特に台風の進行方向の右側では風も強くなり、海面の上昇が起きやすく、特にV字型の湾では奥に行くほど海面上昇が助長されます。



天気予報では、1日を3時間ごとに区切って、表現しています。

時間帯	一日の時間細分		
00:00～03:00	未明	午前中	
03:00～06:00	明け方		
06:00～09:00	朝		
09:00～12:00	昼前	午後	日中
12:00～15:00	昼過ぎ		
15:00～18:00	夕方		
18:00～21:00	夜のはじめ頃	夜	
21:00～24:00	夜遅く		